



発電機を寄贈していただきました



本田技研労働組合浜松支部様より「非常時に有効活用してください」とのお言葉とともにガスパワー発電機（HONDAエネポ）を寄贈していただきました。ありがとうございました。

【理念】キリスト教精神に基づく「隣人愛」
【経営方針】この地域にしっかりと根ざし、住民に信頼される病院づくり

社会福祉法人 聖隷福祉事業団
医療保護施設・地域医療支援病院

総合病院 聖隷三方原病院

SEIREI MIKATAHARA GENERAL HOSPITAL



聖隷三方原病院は、公益財団法人日本医療機能評価機構の定める認定基準を達成しています。

ご意見箱より

～お寄せいただいた内容をご紹介します～

ご意見：駐車場ライン幅が狭く、夜間や多車入庫時に苦慮する。

当院からのお返事：現在、連休前後などの外来診察日は満車になり周辺道路に車列ができ、近隣住宅や道路通行車両にご迷惑をおかけしております。

このような状況下において駐車枠を拡大しますと、駐車枠が減ることになり駐車待ち時間の増加や近隣住宅及び通行車両へのご迷惑をおかけすることになってしまいますので、今のところ拡張計画はしておりません。ご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

地震総合訓練を行います

9月26日（木）17：30～18：30
に地震総合訓練を行います。地震発生時の広域災害に備えて、的確な初期活動や傷病者の受け入れなどを、病院全体で実施します。院内放送や患者搬送訓練などでご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



『みどりの通信』へのご意見、ご感想をお待ちしております。

皆様からお寄せいただいたご意見・ご感想を今後の誌面作りの参考にさせていただきます。

e-mail : mkwebmaster@sts.seirei.or.jp FAX : 053-438-2971 みどりの通信編集部

地産地消～静岡県の食材～ 椎茸

椎茸は、きれいな水と空気がある山間地で育ち、昔から伊豆半島を中心に静岡県内各地で栽培が盛んです。

椎茸は、グアニル酸やグルタミン酸などのうま味成分を豊富に含み、栄養価としては炭水化物、食物繊維、ミネラルが主で、低カロリー食です。また、血中コレステロール値を下げるエリタデニンを含むなど健康野菜としても知られています。肉厚で香りがよく、(鍋物、煮物、焼き物、揚げ物、吸い物)など様々な料理に使われます。

【選び方】

- ・かさの裏が白く薄い膜が張っているもの。
- ・肉厚のもの。
- ・軸は太くて短いもの。

簡単！旬のレシピ

今回は当院で提供している
「鶏椎茸スープ」をご紹介します

4人分

鶏ムネ肉80g
生椎茸40g
コンソメ8g
塩少々
コショウ少々
根みつば12g
水480cc

《栄養価 1人分》

エネルギー	52kcal
脂質	3.1g
β-カロテン	51μg
カルシウム	5mg
食塩相当量	1.4g



作り方

- ①生椎茸を炒める。
- ②お湯を張り、鶏ムネ肉は一口大より小さめに切り熱湯にくぐらせる。
- ③表面のあくを取り除く。
- ④②の中に炒めた生椎茸も入れ、あくを取り除く。
- ⑤コンソメ、塩、コショウを入れ、味を整える。
- ⑥最後に根みつばを入れる。

〈ポイント〉

- ・肉を入れたときに、しっかりほぐす。
- ・こまめにあくを取る。

調理師 高林 則子

2013年度 フェスタおおぞら

日時：9月22日(日)13:00～15:00

場所：聖隷おおぞら療育センター

3号館 1階および施設内ホール 他

内容：クラシックギター・フルーツ演奏、

フラメンコ、模擬店、

近隣福祉施設によるフリーマーケット

皆様のお越しをお待ちしております。



がん患者さんのための おしゃべり会「じゃがいも」

同じ病気を抱えている患者さんといっしょにお話してみませんか？

おしゃべり会はみなさんで体験をわかちあい、支えあう会です。

日時：9月26日(木)13:30～14:30

場所：聖隷三方原病院 管理棟 2階 第7会議室

対象：がん患者さんご家族

お問い合わせ：よろず相談地域支援室

浜松がんサポートセンター

TEL：053-439-9047



眼科検査室の紹介

私たちが外界から得る情報の約80%は、視覚からの情報と言われています。日常生活を営む上で「見る」、「見える」ということは大変重要なこととなります。眼底は唯一、人の血管の様子を直接観察できる場所であり、眼の表面の角膜から脳の視中枢までの全てが正常であってはじめて、私たちは物を明視することができます。

眼科検査室は、光学的な知識や眼と脳の解剖生理の知識を背景に、眼の病気を理解した国家資格を有する「視能訓練士」の職場です。外側だけでは判断できない眼の機能の詳細を検査し、適切な診断・治療に繋がる検査データを提供することを通して、患者様の視覚の質の向上に貢献することが目的です。

視能訓練士の主な仕事は、視覚を司る眼の視機能（以下視能）検査・視能矯正です。

様々な機器を駆使して、視能に関する視力屈折・調節・色覚・眼圧・眼位・眼球運動・

両眼視機能・網膜電位図・眼底写真撮影等の眼科検査一般、各種眼科手術の術前術後の検査、眼鏡合わせ等々を行っています。



更に、視能訓練士の重要な役割として、小児の視能発達に直接関わる斜視や弱視の検査・訓練・指導があります。

私たちの眼は8歳くらいまでに成人とほぼ同じに発達します。異常がある場合は、治療効果が期待できるこの間に検査・訓練を行うことが求められます。早期発見・早期治療が第一です。生後まもなくからでも視能検査は可能です。長期にわたる検査・訓練

眼科検査室
室長 宮原 知子

が必要ですが、未来に向かって子どもたちの目が一段と輝くよう、子どもたちの快適な両眼視機能の獲得を支援しています。



私たち視能訓練士は、眼科検査（視能検査）のスペシャリストとして、乳幼児から高齢者まで世代を超えて、患者様の大切な目の健康を守る役割の一端を担っています。



更なるスペシャリストを目指して、認定視能訓練士の資格を取得した者もおります。

患者さんのための「医学情報プラザ」ご案内

医学や健康に関する書籍、一般書籍合わせて約1,000冊を所蔵、DVD、インターネットもご利用いただけます。絵画展なども随時開催しています。ぜひご利用ください。

開館日：月～金曜日（祝日を除く）

開館時間：10：00～16：00



今月の催し

絵画展

—聖隷厚生学園讀栄寮 プチ宝石箱展—

期間：9月3日（火）～9月30日（月）

どなたでもご覧いただけます。ぜひお立ち寄りください。

編集後記

「過疎化」「農家の後継者不足」「限界集落」…などなど、地方にとってはなかなか厳しい言葉を耳にする機会が多いですが、「ふるさと納税」の制度を利用し、活性化を図る取り組みが今注目されています。

長野県の阿南町では、3万円の納税（寄附）に対し、お米60キロを贈る取り組みが行われており、納税者に特典があることはもちろん、農家の支援や荒廃を防ぐことにも繋がり、大きな成果をあげています。

生まれ育ったふるさとや、心のふるさとに税を納めることで恩返しをし、さらにふるさとの味を味わえる、この美味しい制度を皆さんもご利用してみたいかがでしょうか。

発行責任者：総合病院 聖隷三方原病院 病院長 荻野 和功
〒433-8558 浜松市北区三方原町 3453
TEL 053-436-1251 (代) / FAX 053-438-2971
<http://www.seirei.or.jp/mikatahara/>